

高速道路における安全運転のお願い

～高速道路上の思わぬ停止車両や人にご注意ください～

中日本高速道路株式会社が管理する高速道路において、2016年1月1日から4月21日までには8件の交通死亡事故が発生し、10名の尊い命が失われました。

交通死亡事故発生件数については、その半分を対人事故、車外放出が占めており（図1）、土・日・祝日に多く発生する傾向（図2）があります。対人事故の特徴としては、事故等により停車後、車から出られたお客さまが本線上において轢かれる事故となっています。事故・故障等で停止した際には、本線や車内に残らず、ガードレールの外など安全な場所へ避難するとともに、走行の際には必ず全席シートベルトを着用するようお願いいたします。

また、昨年4月から5月にかけて、6件、7名と例年に比べて多くの自動二輪車が関係する交通死亡事故が発生（図3）しました。ライダーの皆さまは、十分な休憩の確保と車間距離をとって、安全な速度で走行していただきますようお願いいたします。

1. 【2016年 交通死亡事故の特徴・傾向】

■事故形態別

車外放出事故、対人事故と合わせると4件となり
 全体の半数を占める。

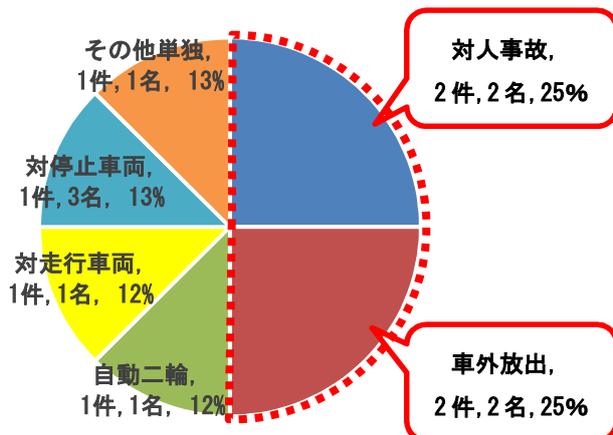


図1 事故形態別死亡事故件数
 (中日本高速道路調べ)

■曜日別

土・日・祝日に事故が多く発生。

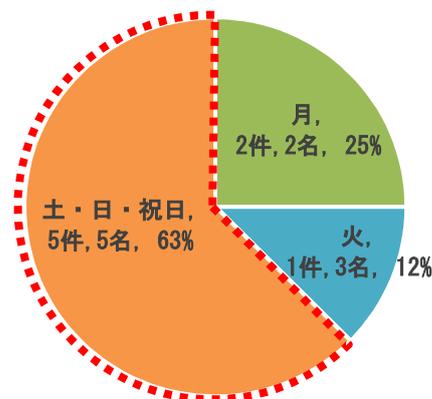


図2 曜日別死亡事故件数
 (中日本高速道路調べ)

2. 【2015年 自動二輪車交通死亡事故の発生状況】

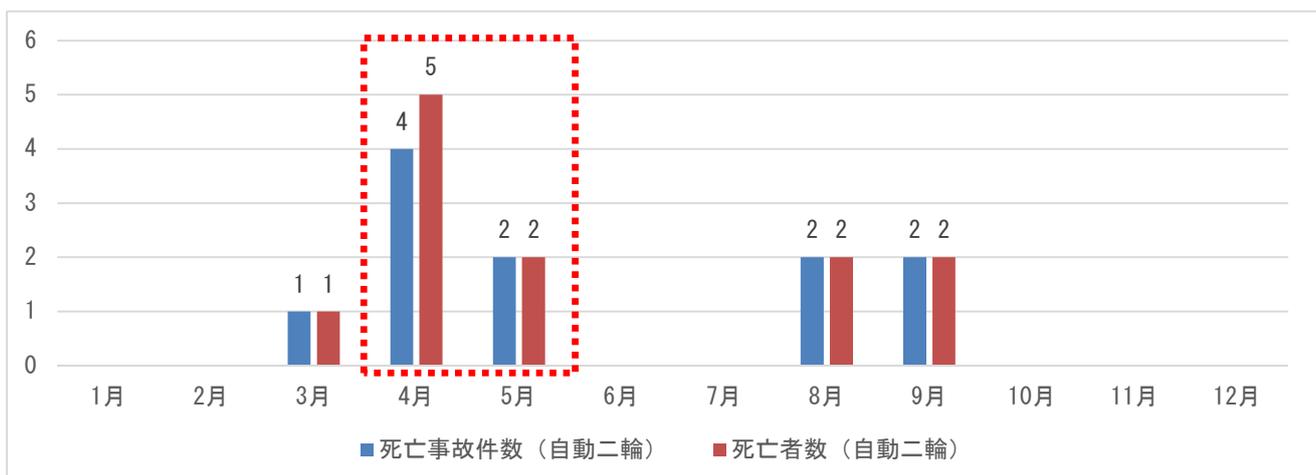


図3 2015年自動二輪交通死亡事故の月別件数 (中日本高速道路調べ)